

坊領道 ほうりょうみち



海路を通し博労たちで賑わった参詣道

大山寺から南北方向に広がる坊領道は、大山北麓の大山寺領内の村々、鳥取藩領の淀江湊、淀江宿および御来屋宿などの地域を結ぶ主要参詣道だ。日本海に面した淀江、御来屋、大山口方面から、豪門山の西麓で尾高道と合流する。

大山町宮内の『仁王堂公園』は、大山北麓を仰ぎながら 360 度自然の大パノラマが広がる芝生公園。高さ 8.8mの大山伯耆坊(からす天狗)の像が、古くは霊山として修験道の山だった大山の歴史を物語る。

宮内・佐摩集落の沿道には、道標と夜道の安全を願う『常夜燈』が設置されている。はるばる海を渡り、夜間に大山寺領の村々に入った参詣者たちは、その灯りを発見したこと、神聖な大山の領域に足を踏み入れたとわくわくしたに違いない。沿道の所子集落では、母屋に近い厩で牛馬が飼われ、搾乳や仔牛生産を各屋で行っていた。牛糞石や牛馬万人供養塔など、牛馬と関わる生活の様子を伝える貴重な町並みは、国の伝統的建造物群保存地区に選定されている。



1 万人講 (平集落) 2 平集落内に残る道標 3 仁王堂公園内に残る道標 4 仁王堂公園内に残る道標 5 牛馬供養塔 (宮内集落) 6 今在家に残る道標 7 今在家に残る道標 8 今在家に残る道標 9 今在家に残る道標 10 今在家に残る道標



16 当時の名残並木大松 道標となった松の古木。



11 赤松の池 12 赤松の池大明神 13 赤松の池大明神 14 赤松の池大明神 15 赤松の池大明神 16 赤松の池大明神

大山寺まで続く道しるべとなった石仏地蔵

石仏地蔵は俗に一町仏と言って、順成成就を願った施主が寄進したもので、当時は一町(約109m)ごとに一仏が立ち、大山寺の「零番地蔵」まで続き、参詣する旅人の道しるべとなっていた。現在でも「三十一番地蔵」から始まり、番号の読み取れない地蔵や、最も若いもので「十一番地蔵」が確認されている。大山路、大山道路の道辺には多くの地蔵が見られる。



17 赤松の池 18 赤松の池大明神 19 赤松の池大明神 20 赤松の池大明神 21 赤松の池大明神 22 赤松の池大明神 23 赤松の池大明神 24 赤松の池大明神 25 赤松の池大明神 26 赤松の池大明神 27 赤松の池大明神

坊領道 MAP

●坊領の行事

- 1 万人講 (平集落)
- 2 平集落内に残る道標
- 3 仁王堂公園内に残る道標
- 4 仁王堂公園内に残る道標
- 5 牛馬供養塔 (宮内集落)
- 6 今在家に残る道標
- 7 今在家に残る道標
- 8 今在家に残る道標
- 9 今在家に残る道標
- 10 今在家に残る道標
- 11 赤松の池
- 12 赤松の池大明神
- 13 赤松の池大明神
- 14 赤松の池大明神
- 15 赤松の池大明神
- 16 赤松の池大明神
- 17 赤松の池大明神
- 18 赤松の池大明神
- 19 赤松の池大明神
- 20 赤松の池大明神
- 21 赤松の池大明神
- 22 赤松の池大明神
- 23 赤松の池大明神
- 24 赤松の池大明神
- 25 赤松の池大明神
- 26 赤松の池大明神
- 27 赤松の池大明神

●赤松の行事

- 16 赤松の池
- 17 赤松の池大明神
- 18 赤松の池大明神
- 19 赤松の池大明神
- 20 赤松の池大明神
- 21 赤松の池大明神
- 22 赤松の池大明神
- 23 赤松の池大明神
- 24 赤松の池大明神
- 25 赤松の池大明神
- 26 赤松の池大明神
- 27 赤松の池大明神

坊領道で自然観察!!

大山は、山頂から日本海までの距離が約18キロであることから、海岸植物からブナ林、高山植物まで多彩な植物を見ることができる。海辺から標高730mの博労座までの坊領道を歩くと、田畑周辺の野草や赤松林、コナラなどの落葉樹林など変化に富んだ景色を楽しむことができる。その中で、見られる自然について紹介する。



イチリンソウ (キンボウゲ科) 花の直径は約1.5センチで、大山周辺で見られる野生の桜の中では、一番小さな花を咲かせる。メメザクラの変種で、近畿地方などによく生える。



1 ウグイスカグラ (スイカズラ科) 2 ウワミズザクラ (バラ科) 3 ハナイカダ (ミズキ科) 4 クロモジ (クスノキ科) 5 ナツツバキ (ツバキ科) 6 ダイセンミツバツツジ (ツツジ科)



7 ヤマボウシ (ミズキ科) 8 タチツボスミレ (スミレ科) 9 トキワイカリソウ (メギ科) 10 ヤマボウシ (ミズキ科) 11 タチツボスミレ (スミレ科) 12 トキワイカリソウ (メギ科)

自然の中を散策すると いろいろな発見に出会える!

リスは器用にクルミを食べるよ!

ウバユリ (ユリ科) 林の中に見られ、茎の高さが1mほどになり、根元に大きな葉をつけるのでよく目立つ。夏に茎の先に緑白色の花を数個咲かせる。花が咲く頃には、たいいてい根元の葉が枯れるのでその名がついた。

ネズミの食べ痕 リスの食べ痕

クルミの殻から、どんな動物が生息しているのか推測するのも楽しみ